

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大牟田市役所			代表者名	大牟田市長 関 好孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画総務部デジタル行政推進室	連絡先電話番号	0944-41-2511
担当者役職	主査	担当者氏名	前原 早紀	連絡先E-mail	
住所	836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	オープンデータ及びEBPMの推進		
概要	昨年度開催した「オープンデータ活用研修」に参加した職員へのフォローアップ及び昨年度受講できなかった職員向けにオープンデータやEBPM等、データの利活用について学ぶことができる研修の講師を依頼したい。				
支援を求める分野	オープンデータ EBPM 人材 (DX推進のための機運の醸成)				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月8日	講演(実地)	10時30分	16時30分	80
			活動時間(分)	280	
2-2. 派遣場所	会場名	大牟田市役所		最寄駅	大牟田駅
	所在地	福岡県大牟田市有明町2丁目3番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	3日目は一般職員向けの「実践編」と「管理職員向け」の研修を開催した。一般職員向けの座学では、使いやすいデータについて学んだり、データクレンジングツールを教えて頂く等、すぐに業務に落とし込めるようなわかりやすい内容だった。また、ワークショップではEBPMを意識した思考プロセスをひとつずつ体験することができ有意義な研修となった。管理職員向けでは牛島氏の経験に基づく事例を交えた内容で、EBPMの重要性を再認識できるものだった。それぞれの研修を通し、自身のデータリテラシーを疑う良い機会になったと思う。
アドバイザーへの要望事項	来年度以降も継続して講師をお願いしたいです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	41人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	41	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	オープンデータの意義やEBPMの考え方、データ活用事例等について職員へ浸透できていないこと、また一部の職員においてはデータ自体への関心や理解が乏しく、自身が業務で取り扱っているデータについて理解・整理できていないことも課題となっている。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	・全体：庁内でデータの利活用が進み、多様化する市民ニーズを捉えた満足度の高い市民サービスを提供することで、市民の市政への参加意識が高まり、地域の発展や市民の生活の質の向上を目標とする。 ・一般職：オープンデータやデータの基礎知識習得だけでなく、EBPMについて職員が理解し、日常業務で実践する。 ・管理職：EBPMの手法や管理職としての心構えを理解し、DX推進のマインドを醸成する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	今回は一般職員向け研修(実践編)と管理職向け研修を開催した。 ・一般職員向け(実践編):オープンデータの定義や意義だけでなく、使いやすいデータやEBPMの考え方について学んだ。また、1日目の基礎編で導き出した課題に対して解決策を提案するワークショップも行った。 ・管理職員向け:オープンデータの意義、DXの本質、EBPMの効果的手法及び重要性について他市町村の事例をもとに学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・データを探す、理解する、分析する力を日頃から身に付けることで、ハズレの少ない政策立案ができることを学んだ。 ・オープンデータを活用した自治体や団体の事例を知ること、日頃の業務においてデータを意識するきっかけとなった。 ・地域の課題を解決するのは行政だけでも民間・地域だけでもなく相互連携が必要であることを学ぶことで、オープンデータやEBPMの重要性について意識醸成ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照ください。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	オープンデータの普及促進に取り組むことで、業務効率化や市民サービス向上が図られることを認識し、職員自らがオープンデータを積極的に活用することが目標。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可
  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

